

能登半島地震被災地支援 令和5年度助成先団体紹介

01



① 特定非営利活動法人阪神淡路大震災一一七希望の灯り (理事長：藤本 真一)

阪神淡路大震災の教訓と、そこから生まれた支え合う「ところ」を伝え、ひろげるため、被災地各地に設置された震災モニュメントを通じて出会った遺族・被災者・企業・行政・全国の支援者が連携して「市民による追悼事業」「市民生活を軸としての震災の記録」「震災モニュメントが果たす社会的意義とその調査」などの事業を行うことを通じ、震災体験の風化を防ぎ、震災文化を育てていくことを目的に活動。

<能登半島の支援内容>

支援先：石川県輪島市町野町

被災地での連携先：一般社団法人 震災復興ことも支援

主な支援内容：倒壊した家屋の瓦出し・家財具出し・ガレキ撤去、不足している食材を持参しての炊き出し支援、現地ボランティアが宿泊できる古民家の買取を支援し、HANDSハウスを設置

02



② 被災地NGO協働センター (代表：頼政 良太)

団体概要：阪神・淡路大震災およびその他の災害によって被災された人々の支援活動を目的に活動。広報・情報交換・生きがい・就労促進事業の研究開発と推進・コーディネートセンターの設置運営・被災地内外における各団体との連携とネットワークづくり・フリースペースの設置を実施。

<能登半島の支援内容>

支援先：石川県七尾市

被災地での連携先：小牧壮年団

主な支援内容：避難所、在宅避難者への物資配布・物資配布拠点整備、避難所等での足湯ボランティア・サロン等居場所づくり、地域の方と協力した家屋片付け作業等地域ボラセン、支援の必要に応じた専門家・他団体と実施する相談会

03



③ 被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」 (代表：大竹 修)

団体概要：被災地で「子ども支援×傾聴サロン」、神戸で「神戸写真洗浄」を行なっている。被災者の心により添えるように、また一人でも多くの方に被災地の現状やボランティアの意義を伝えるため、初参加や学生の方を優先して活動に参加。

<能登半島の支援内容>

支援先：石川県七尾市、穴水市、珠洲市、能登町

被災地での連携先：被災地NGO協働センター／七尾市災害ボランティアセンター

主な支援内容：物資支援・支援物資仕分け、家屋の清掃、足湯傾聴、写真洗浄（広報）、七尾市災害ボランティアセンター（七尾市災害VC）の運営サポート

04



④ 神戸大学学生震災救援隊 (代表：鈴木蒼生)

団体概要：1995年1月23日設立。阪神・淡路大震災の際に救援活動を行っていたメンバーによって結成された団体で、現在も神戸大学生を中心に「地震によって浮き彫りとなったまちに潜む問題」をはじめとする様々な問題を再度埋もれさせないために活動を継続。

<能登半島の支援内容>

支援先：石川県七尾市

被災地での連携先：被災地NGO協働センター

主な支援内容：支援物資の運搬、足湯傾聴活動、被災者宅の片付け・ゴミの処分

05



⑤ 神戸学院大学クローズアップ社会研究会 (代表：安富 信)

団体概要：2021年6月1日設立。神戸学院大学現代社会学部の学生が中心となり、社会問題、時事問題について研究する団体。

<能登半島の支援内容>

支援先：石川県能登町

災地での連携先：NOTOノート(能登町の工房を拠点に活動する高齢女性グループ)

主な支援内容：工房の片付け・雪かき、支援物資の引き取り支援、輪島塗など貴重な物品の掘り出し

06



⑥ 北神戸田園ボランティアネット (代表理事：佐藤 由美子)

団体概要：子供からお年寄りまで、さまざまな出会いを必要としているすべての方々に対して、市民・事業者・行政と一緒に、「北神戸田園スポーツ公園」での里山環境保全事業、スポーツ・ストリートスポーツ・アートなどのイベントの企画・開催・支援事業、里と街の人たちが出会える情報の提供を行い地産地消や文化の継承につなげるふるさと支援事業、市民参画によるイベントの企画・開催・支援事業を行い、地域間・世代間・人と自然の間の風通しを良くし、コミュニティの心を広げ地域の活性化に寄与することを目的に活動。

<能登半島の支援内容>

支援先：石川県珠洲市、輪島市、七尾市

被災地での連携先：障害福祉サービス多機能型事業所さざなみ

主な支援内容：珠洲市・輪島市・七尾市等での炊き出し、家屋の片付け、ニーズの聞き取り調査、特に在宅避難者・障害者施設・自主避難所等、支援の見落とされがちな場所を対象

能登半島地震被災地支援 助成報告会・交流会概要

【日時】 6月10日(月) 15:00 - 17:00

【場所】 神戸国際会館 大会場

【主催】 神戸市 【企画】 認定NPO法人しみん基金・こうべ